

青葉区東部地区(新石川地区・美しが丘地区・あざみ野地区)における 新たな公共交通サービス実証実験(あおばGO!)の 運行車両台数の変更について

あおばGO！実証実験協議会

1. 11月～1月の運行状況等
2. 運行車両台数の変更について

1. 11月～1月の運行状況について

1. (参考)過年度までの取組(概要)

- ・ 移動不便の解消と生活サービスとの連携に向け、エリアや施策等拡大しながら取組を実施。
- ・ 令和6年度では、運賃見直しや協賛金獲得等、収益改善の取組を実施。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
エリア	1か所 新石川地区	3か所 新石川地区 美しが丘地区 あざみ野地区	3か所 新石川地区 美しが丘地区 あざみ野地区
運行期間	令和5年1月16日～ 令和5年2月28日	令和5年9月15日～ 令和6年3月15日 ※9月～11月は平日運行、 12月以降は土日祝日も含め運行 (年未年始は除く)	令和6年9月3日～ 令和7年2月28日 ※火～土の運行(年未年始は除く)
乗降スポット数	51か所 (新石川地区のみ)	180か所 ・新石川地区 56 ・美しが丘地区 73 ・あざみ野地区 51	195か所 ・新石川地区 59 ・美しが丘地区 74 ・あざみ野地区 62
運賃	大人300円、小児150円	大人300円、小児150円	大人400円、小児200円
外出促進施策	交通チケット※ (1回分の運賃が無料)	交通チケット※ (1回分の運賃が無料)	交通チケット※ (1回分の運賃が半額)
その他			・ 交通チケットのデジタル化(アプリ) ・ 協賛金獲得施策 ・ 新規利用者獲得キャンペーン施策
延べ利用者数 (エリア合計)	628人 (平均_約20人／日)	14,114人 (平均_約94人／日)	7,174人 (平均_約57人／日)

※実証実験と連携する生活サービスの施設等のご利用者に提供

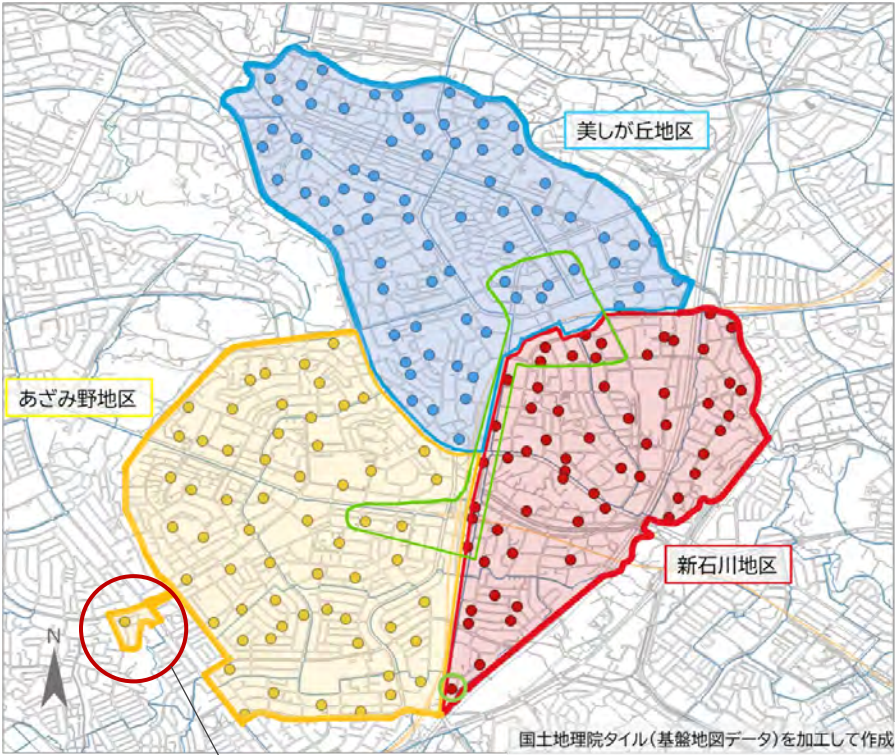
1. (参考)今年度の取組(概要)

- 運行時間、曜日の変更、運賃の変更(プランの新設)等により収支改善を図る。
- 敬老パス等の新たな割引の適用、乗降スポットの追加等で利便性向上を図る。

項目	内容
運行主体	あおばGO！実証実験協議会
運行事業者	神奈川都市交通株式会社
事業許可	道路運送法第21条(一般乗合旅客自動車運送)
運行形態	区域運行によるオンデマンド交通
運行場所	青葉区 新石川1-4丁目、美しが丘1-5丁目、あざみ野1-4丁目、あざみ野南1-4丁目、荏田北3丁目、大場町(一部)
実施期間	2025年11月4日(火)～2026年9月11日(金)
運行時間	月～金の9時～19時
運賃	- エリア内運賃:大人500円、小人200円(敬老パスをお持ちの方250円、福祉パス、特別乗車券をお持ちの方は無料) (エリア跨ぎ) どのエリアからもエリアを跨ぐことのできる範囲を継続して設定。その場合においては、大人800円、小人400円。 - 複数名同時乗車用運賃:2人目以降の運賃半額 - 定期券 大人12,000円、小人6,000円(月単位)
運行車両	神奈川都市交通:ワゴン型車両2台(定員6名)、小型ワゴン型車両3台(定員4名)※運行エリア毎に実質的に1台の運行になるようスケジュール

【運行エリア図】

- 昨年度に続き3地区で運行
- あざみ野地区に、大場地域ケアプラザを乗降スポットとして新規追加(合計196か所)

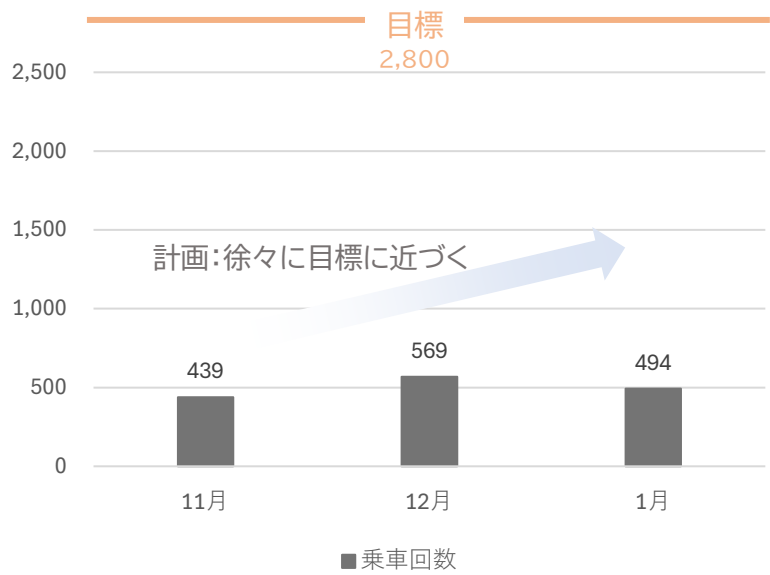


新設の追加乗降スポット(大場地域ケアプラザ)

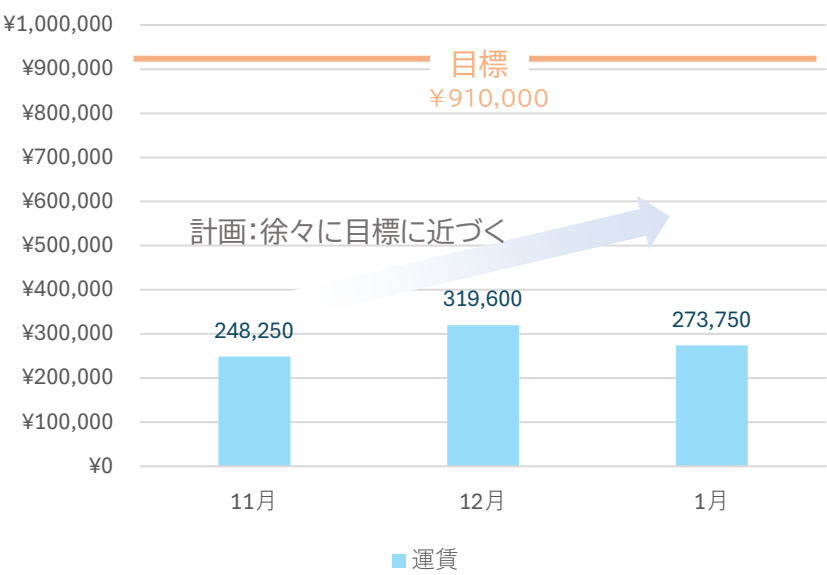
1. あおばGO!の運行状況(11月～1月)

利用回数及び運賃は横ばいの傾向。目標に近づけていない。

乗車回数(11月～1月)



運賃収入(11月～1月)



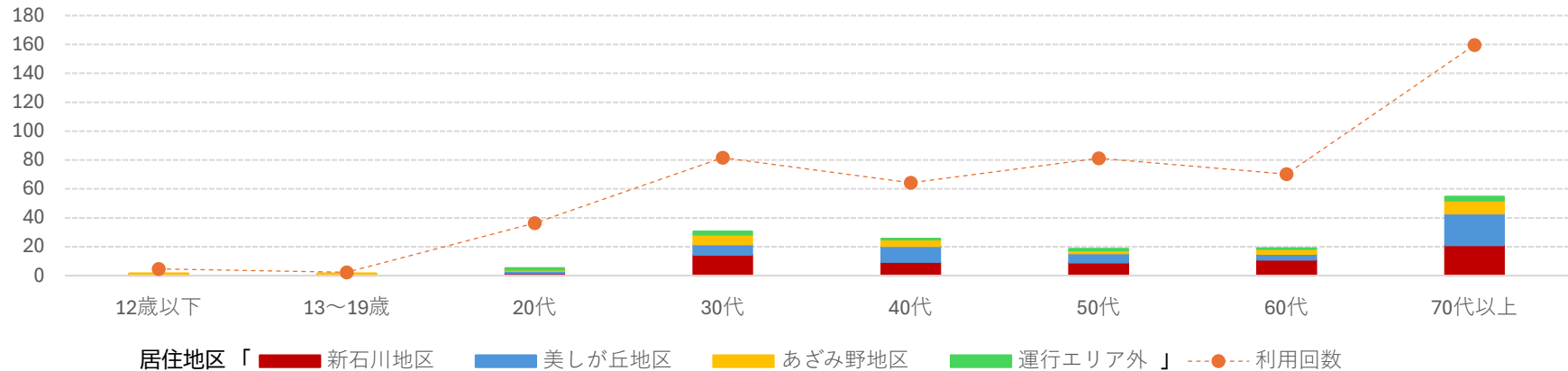
【上記以外の利用状況関連数値】	11月	12月	1月
ユニーク数（予約者のID）	143	179	150
累計乗車人数	562	724	639
敬老パス累計利用回数	110	165	130
子育て（未就学児が同乗した乗車）累計利用回数	45	46	55

1. (参考)あおばGO!の利用状況(11月～1月)

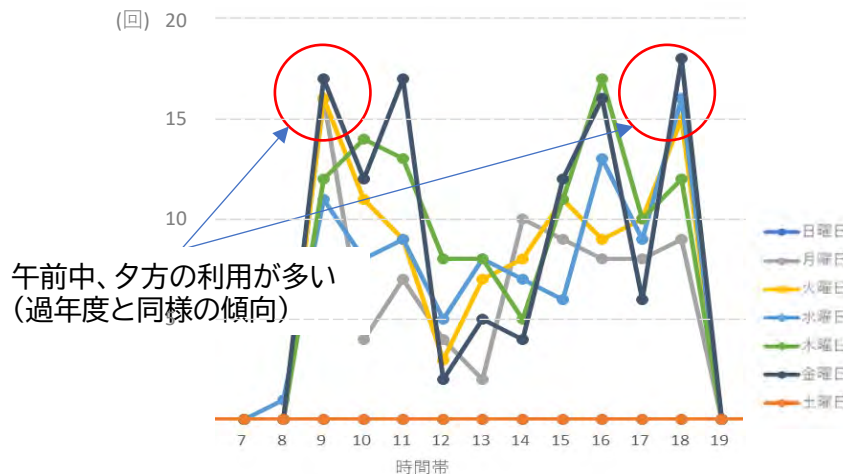
- ・ 昨年度比で、70代以上の利用回数及び利用者数の比率※が大きい。
- ・ 利用傾向(利用の時間帯や移動の流れ)は、過年度の取組と同様の傾向が続く。

※参考__70代以上人数構成比率 2025年度:**34%**、2024年度:15%

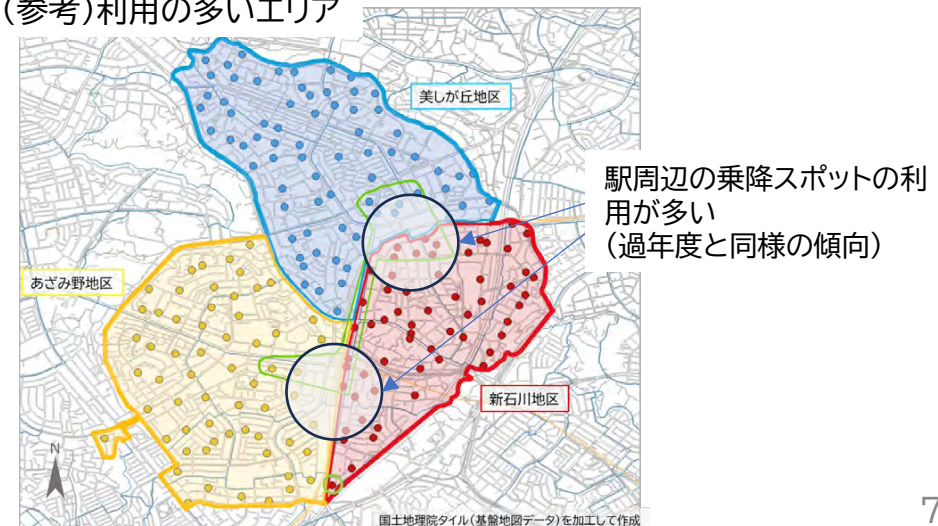
年代別ユニーク数と利用回数(11月～1月の平均)



(参考)利用の時間帯__1月実績



(参考)利用の多いエリア



1. (参考)周知・認知等の取組※(10月～1月)

※これらの取組は2月以降も継続

- ・ 対面での案内で「知ってもらう」取組に重点を置いて実施(8つの新規取組追加、対面の対応件数**24**件)。
- ・ 主なターゲットとなる子育てや高齢者に特化したイベントへの参加、周知も実施。

■全世代向けの施策 ___は、今回での新たな取組

施策・イベント名	実施内容	実施回数(10～1月)
地域ケアプラザ登録会 (対面)	利用登録支援	10
青葉区民祭りへの参加 (対面)	チラシ配布・ 利用登録支援	1
<u>かやのきフェスティバルへのブース出展 (対面)</u>		1
<u>山内地区センター祭りへのブース出展 (対面)</u>		1
<u>山内地域回覧板による周知</u>	チラシ配布	2
パマトコ(横浜市子育て支援アプリ)でのサービス情報配信	サービス情報発信	1
<u>ローカルラジオ・ケーブルテレビを通じての情報発信</u>	サービス情報発信	1(それぞれ)

■子育て世代向けのイベント

施策・イベント名	実施内容	実施回数(10月～1月)
<u>Aonico広場でのサービス周知 (対面)</u>	チラシ配布・ 利用登録支援	2
<u>子供会でのサービス周知 (対面)</u>	チラシ配布・ 利用登録支援	2
<u>スマイルファミリー(キッズスペース)でのサービス周知 (対面)</u>	チラシ配布・ 利用登録支援	4

■高齢者向けのイベント

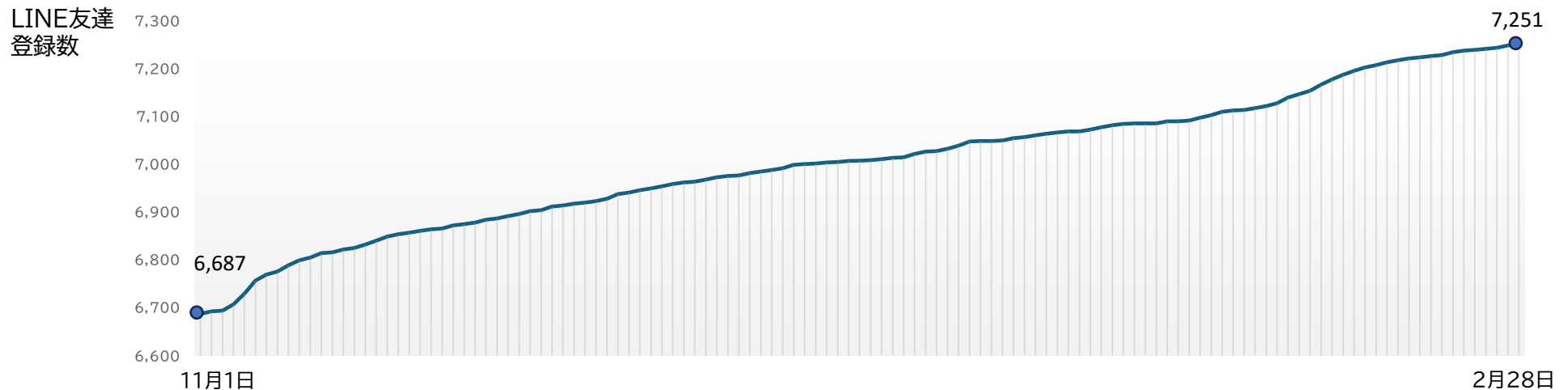
施策・イベント名	実施内容	実施回数(10月～1月)
<u>介護・認知症予防集会 (対面)</u>	チラシ配布・ 利用登録支援	2

1. (参考)周知・認知等の取組(10月～1月) 効果や反応

- LINEの友達登録状況からは、徐々に認知が拡大※していると推測。

※月平均100名程度で増加。2月末日時点で、7,251名

【参考】LINEへの友達登録状況(11月～2月末まで)



➤ 利用者からの声

- 子育て世代からの声
 - ・ ちょうど子供の習い事で使える
 - ・ たまに使うことがある
 - ・ 便利そう
- 高齢者(70歳以上)からの声
 - ・ 免許返納考えているので、つかってみる
 - ・ ここ最近坂がきつくなってきたのでありがたい
 - ・ アプリよりも電話のほうが楽
- 認知等に関する声
 - ・ 今回初めて知った。
 - ・ 聞いたことはあった。
 - ・ 今回も使っている。
- その他(エリアや施設関係者)に関しての声
 - ・ (利用シーンが)エリアの外
 - ・ 近い距離でもエリア跨ぎになってしまうので(料金的に)使いにくい
 - ・ (施設関係者)生徒が通ってくる手段に良いとおもう。

2. 運行車両台数の変更について

2.(参考)事業収支の改善検討について

- 収入面、費用面の検討・対応状況。影響や実現の対応観点から、車両台数の変更を実施予定。

【対応・検討状況について】

収入面	施策内容	対応・検討の状況	備考等
利用回数の増加	周知活動による認知拡大	① 対面を含んだ地域住民への周知活動は継続 ② 新たなチャネルの開拓については、引き続き検討～取組の実施を継続	予算的に許容な範囲で実施、継続していく
	運賃の値下げ (エリア跨ぎの考え方変更含む)	① 交通チケットによる運賃割引(1回無料)施策の実施(2月限定) ② 実質的な値下げについては、収入や既存交通への影響、本格運行を見据えた実効性等。協議会内での事前検討。(今後検討するかを含め協議内で確認予定)	
	エリアの拡大	・ エリア拡大要望は住民からの声として一部有(駅から離れている箇所など)。既存交通影響等も含め協議会内での検討が必要(今後検討するかを含め協議内で確認予定)	
運賃以外の収入の確保	協賛金の確保	① 車体広告として新たな取組を実施(3月～) ② 昨年度同様の実施に向けた調整を継続対応中	継続対応
費用面	施策内容	対応・検討の状況	備考等
車両の運行費用の削減	曜日や時間の変更	・ 利用者減につながる可能性もあるため、慎重に検討する必要がある。これまでの利用状況を振り返りの効果や実現製についての検討を今後予定。	
	車両台数の変更	・ 利用者へのサービス性を大きく損なわず、1台減らし2台運行にした場合でも、現状の予約数への対応は可能と判断。	・ 利用者への影響やシステムの変更項目が少なく、実現性が高い。

2.(参考)運行車両台数変更にむけた事前シミュレーション

- 車両台数を変更(少なく)した場合のシミュレーションを実施
 - ✓ 12月実績に対して、2台運行なら実績状況と同等の結果。
 - ✓ 1台だと利用者観点でのサービス性が著しく低下。

【主なシミュレーション条件】

	パターン①	パターン②	パターン③	パターン④
車両台数	定員6名×2台	定員6名×1台 定員4名×1台	定員6名×1台	定員4名×1台
エリア	担当エリアなし(3エリアどこでも走行可) ※現状は、1号車は新石川エリアといったように走行可能なエリアを決めています。			
その他	休憩時間や道路事情等は考慮されていません。			

【シミュレーション結果】

	実績(12月)	パターン①	パターン②	パターン③	パターン④
利用回数	572	572	572	568※	568※
乗車希望時刻と乗車時刻の差(10分未満)	432	491	493	352	349
乗車希望時刻と乗車時刻の差(5分未満)	317	426	414	293	292
乗車希望時刻と乗車時刻の差(20分より大きい遅れ)	11	0	0	41	44
乗合数	48	56	52	94	90

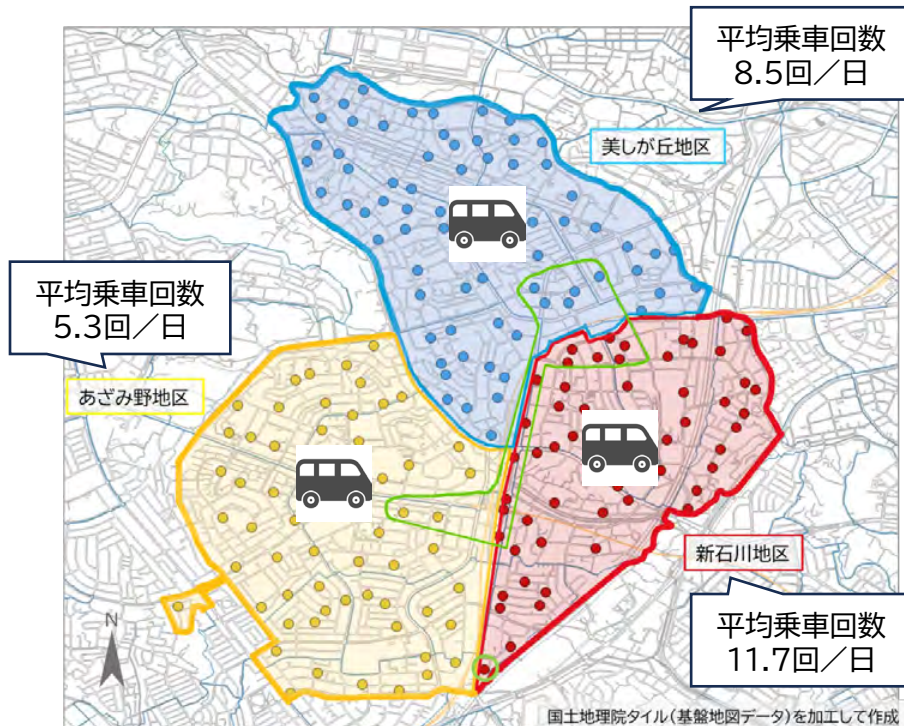
※1台だと、12月実績相当のデマンドを対応できず利用回数が減少

2. 運行車両台数の変更(3台→2台)

- ・ 事業収支改善のため、運行車両数を減らした運行の実施。
- ・ 利用者へのサービス性観点(希望通りに予約が取れない等)は、一層の注意を払う。

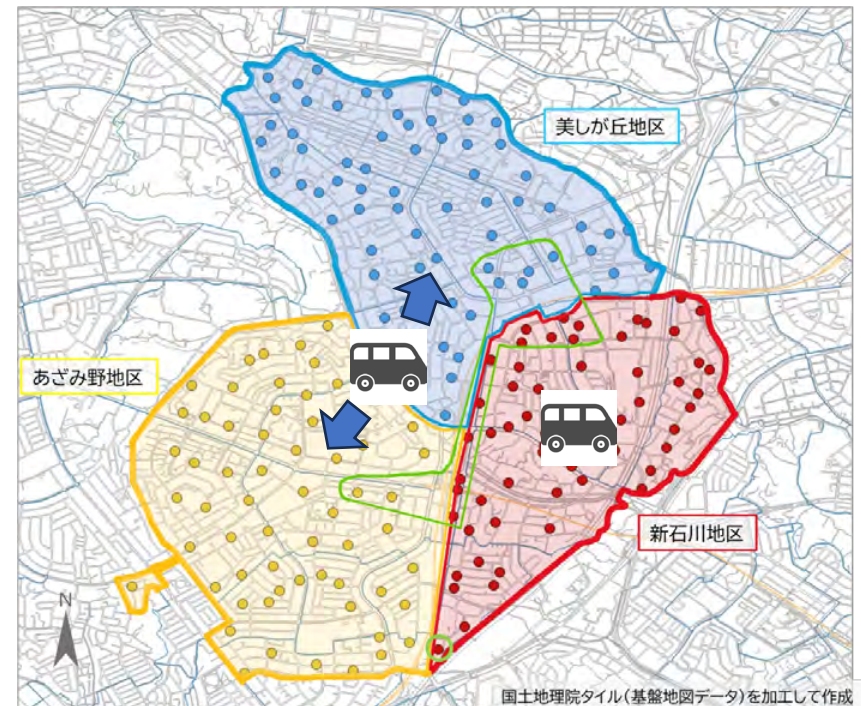
【現状】

- ・各地区を1台ずつ担当



【変更イメージ】

- ・ 相対的に利用回数が少ない美しが丘地区・あざみ野地区を1台でカバー
- ・ 時期は準備が整い次第。2026年4月以降を予定

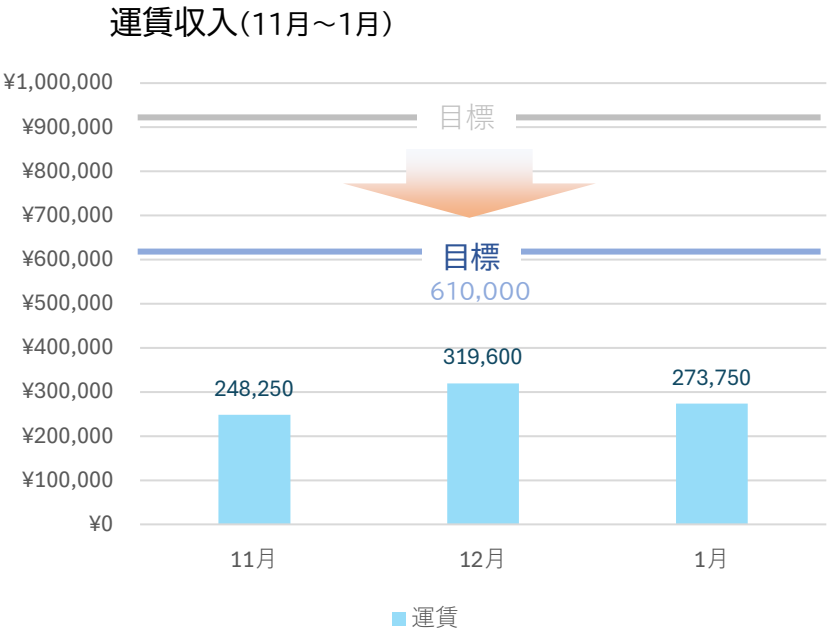
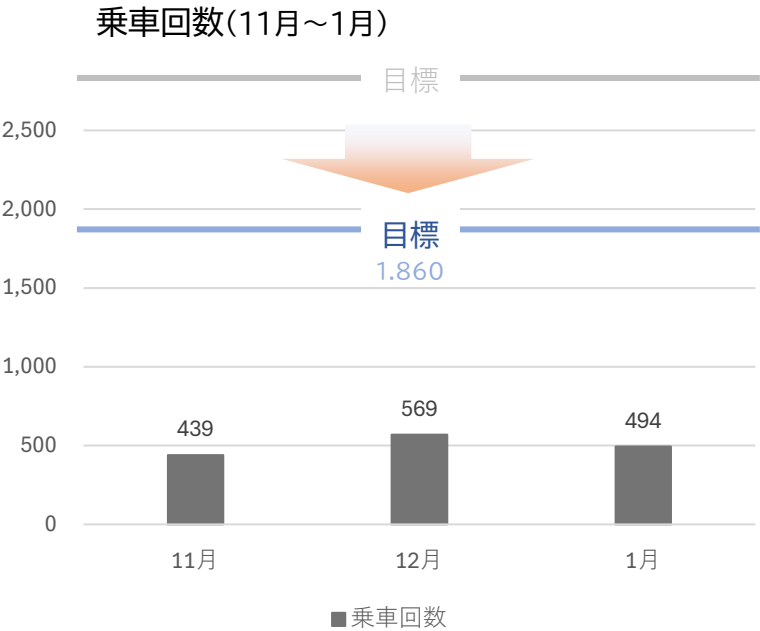


2. 車両台数見直しによる目標の変更※

※施策の進捗状況や運行経費の変更等を考慮し今後再検討を予定

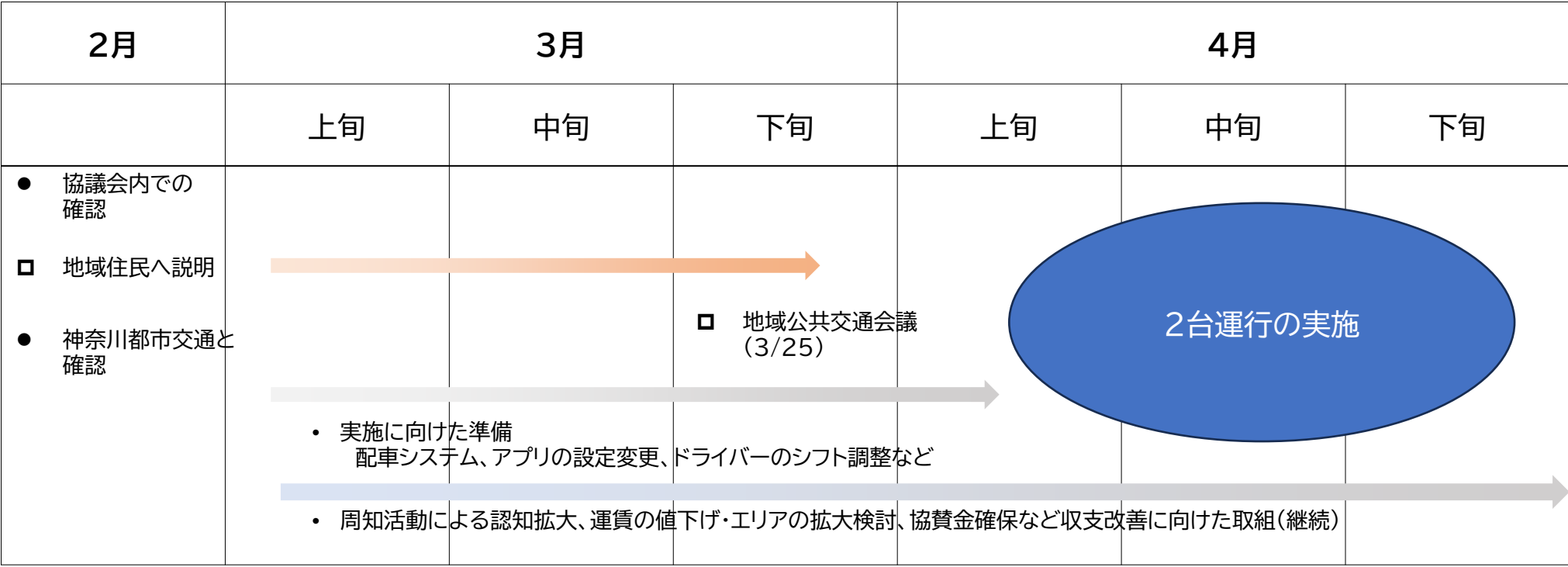
- ・ 車両台数の見直しで運行経費が減少。乗車回数・運賃収入の目標が下がる。
- ・ 利用者へのサービス性の影響を確認しつつ、利用回数の増加のための取組は継続。

● 11月～1月の実績(再掲)で例示



2.運行車両台数変更に向けたスケジュール案

利用者には、事前案内・説明を自治会を通じて実施する他、LINE等でも案内を予定。



●は、対応済
□は、対応中、またはこれから対応を予定している事項